

## 申請書類の記載方法等について

### 1 交付申請書（様式第1号）

- (1) 記載例1を参考に作成してください。
- (2) 「補助金等の額」の欄は、要綱第4条第2項、別表4「市内周遊観光バスツアー支援事業（参加者数に応じた補助）」及び別表5「市内周遊観光バスツアー支援事業（バスツアー料金の一部補助）」により算出し、記載してください。

#### 【補助金額の考え方】

バスツアー催行予定日が複数設定されている場合は、そのうち1つの旅行（日帰りの場合1日、宿泊の場合その日数）分かつ観光バス1台分までの人数が補助対象となります。

例：日帰り、県外発、参加者数30人、バスツアー料金8,000円のツアー



#### 【補助金額算定方法】

##### ①（参加者数に応じた補助）

造成したバスツアーの、日帰り、宿泊の別、ツアー出発地の別及び参加者数に応じて、参加者数分バスツアーの造成経費を市が補助するものです。

$$\begin{aligned} 1人当たり補助金額 \times 参加者数 &= 参加者数に応じた補助 \\ 1,000円（補助額） \times 30人 &= 30,000円 \end{aligned}$$

##### ②（バスツアー料金の一部補助）

当初予定している一人当たりのバスツアー料金のうち、1/5の額（上限額あり）をバスツアー料金から割り引くこととし、参加者数分の割引総額を市が補助するものです。

※ 必ず、当初予定しているバスツアー料金から、算出した割引料金を割り引くこととし、バスツアー募集記事に、割引前のバスツアー金額、割引後のバスツアー金額及び本補助を受けて催行する旨を記載してください。

$$\begin{aligned} \text{バスツアー料金} \times 1/5 \text{（補助率）} &= \text{バスツアー料金の割引額} \\ 8,000円 \times 1/5 \text{（補助率）} &= 1,600円 \text{（補助額）} \\ \text{バスツアー料金の割引額} \times \text{参加者数} &= \text{バスツアー料金の一部補助} \\ 1,600円 \text{（補助額）} \times 30人 &= 48,000円 \end{aligned}$$

（補助金総額）①+②

上記の（参加者数に応じた補助）と（バスツアー料金の一部補助）の合計額が補助金交付申請額となります。

$$\begin{aligned} \text{参加者数に応じた補助} + \text{バスツアー料金の一部補助} &= \text{補助金交付申請額} \\ 30,000円 + 48,000円 &= \underline{78,000円} \end{aligned}$$

※上記の補助はいずれかのみ適用はできません。

必ず両方の補助を行うこととします。

## 2 事業計画書（様式第2号）

- (1) 記載例2を参考に作成してください。
- (2) 「事業期間」の欄は、バスツアー催行予定の日付としてください。  
例：（日帰りバスツアーの場合）令和〇年〇月〇日  
（宿泊バスツアーの場合）令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで
- (3) 「総事業費」の欄は、催行予定日のうち1つの旅行分の事業費を記載してください。
- (4) 「補助事業等に要する経費の内訳」欄の「内容」については、「別紙のとおり」とし、内訳が分かる1つの旅行かつ観光バス1台分の見積書の写しを添付してください。

## 3 収支予算書（様式第3号）

- (1) 記載例3を参考に作成してください。
- (2) 「1 収入」の「科目」の欄は、「自己負担金」及び「市補助金」とし、「自己負担金」の欄には、1つの旅行分の事業費から「市補助金」の額を差し引いた金額を記載してください。
- (3) 「2 支出」の「科目」の欄は、添付いただく見積書の写しに記載されている項目ごとに予算額を記載してください。  
枠が不足する場合は、適宜追加してください。

## 4 その他の添付資料について

見積書、行程表、バスツアー料金及び定員数が分かる書類、バスツアー料金の内訳（施設利用料、食費代、交通費等）が分かる書類については、任意の様式で結構です。

社内でバスツアー造成の際に使用したもので、上記の内容が把握できるものなどがあれば、そちらを御提出いただいても構いません。

また、記載例4のような概要書、見積書及び行程表を御提出いただいても構いません。

## 5 誓約書及び同意書

- (1) 記載例5を参考に作成してください。
- (2) 代表者様の記載をお願いします。

※ 併せて、「申請時提出書類一覧及び補助対象ツアーの要件について」も御確認ください。